

第68回 全国高等学校PTA 連合会大会

佐賀大会

平成30年8月20日(月)・21日(火)

参加報告

大会スローガン

「広めよう 高めよう 慈しむ心」

～君たちがつくる希望の明日を～



・8月20日(月)

《開会式》

《基調講演》

テーマ **レモンさんのビタミントーク!**
～慈しみの愛言葉! We are シンセキ!～

講演者 **ラジオDJ レモンさん(山本シュウさん)**

《分科会》事例発表と研究協議

テーマ **家庭教育とPTA**
～情報社会で問い直される家庭教育とPTA 活動～

・8月21日(火)

《記念講演》

演 題 「流れのままに」 俳優 **片岡鶴太郎 氏**



専攻科の皆さんと

佐賀大会には全国から約9千人のPTA関係者が参加しました。例年との違いは県内5つの会場に分散して開催されたことです。

私たちは嬉野市体育館に参加しました。

開会行事に続いて、レモンを被ったPTA会長としても有名な山本シュウさんの基調講演「大切な命、あなたの命はあなただけのものではない。あなたは他人ではない。私たちは皆シンセキなのだ!」と笑いを交えた熱いお話をいただきました。

午後の分科会に先立ち、はなわさんの登場。

「S・A・G・A 佐賀♪」など歌とトークを楽しみました。

分科会では岩手県大船渡高校・埼玉県立児玉白楊高校・新潟県立海洋高校・山口県立萩高校のそれぞれの学校におけるPTA活動の事例発表と協議がおこなわれました。どの学校でも、PTA活動を通して、情報交換の場・全保護者の交流の場作りを大切にしていることがうかがわれました。また、情報社会の進展で懸念さ

れる家族のふれあいを、逆にスマホなどを活用してコミュニケーションを深めるツールに。そのためには親が学び、子どもに熟議の機会を与えることが大切など、熱心な意見交換が交わされました。

2日目は、記念講演「流れのままに」と題し、片岡鶴太郎さんが毎日取り組んでいる出かける7時間前に起床し4時間のヨガ・2時間朝食の話や、左手の指で描く油絵の紹介などを通して、歴史上の人物や事象に学ぶ姿勢や楽しむことの大切さの話をうかがいました。

その後、各分科会報告が全国理事からあり、閉会行事では、大会宣言の採択。

全国高P連旗が次期開催地の京都府に授与されました。最後に実行委員長より閉会の挨拶があり、閉会宣言となりました。

レモンさんのビタミントーク！

～慈しみの愛言葉！We are シンセキ！～

時代は“第二の明治維新”真っただ中！だから、叩き合い、迷い、孤独が増えています！レモンさんの合言葉 “We are シンセキ！” その思いはズバリ！「あなたの命は、あなただけのものじゃない！」ということ！ 遠慮なく“助けて～！”と叫んでいい“権利”それが“人権”！ あなたはあなたのまま“で”いい！以上にあなたのまま“が”いい！と言える時代なんです！

そんな叫びのような語り口で始まったレモンさんの講演。レモンさんはまるで「大阪のおばちゃん」。講演ではこれからの流れの方向や、具体的に明日からできそうな行動、本当のコミュニケーションの形、捉え方、練習の仕方など、仲間同士・シンセキ同士のように楽しくハッピーな時間を共有しました。以下は講演の一部抜粋です。

昭和の子育ては卒業！

～昭和のICチップを捨てて気づきを与える存在に～

一番伝えたいのは、子どもにとっての“信頼の5つ星”になろうということ。

この人は

「自分のことを分かってくれてる」という理解者

「応援してくれてる」という応援者

「信じてくれてる」という信者

「認めてくれてる」という承認者

「気づかせてくれてる」という指導者

この役割をはみ出さない範囲で、いろんな生き方のメニューを並べてあげてほしい。ただし、選ぶのは子ども自身だから保護者は見守らないかと。

この「見守る」ことが意外と難しい。我々大人の中には、一昔前の昭和のICチップが埋め込まれているから。

～「昭和のICチップとは～

- ① すぐ感情的になる
- ② 人の話を最後まで聞けない
- ③ 絶対に自分が正しいと思う
- ④ 0か100かの極端な考え方をする
- ⑤ わけもなく上から目線

⑥ 何でもすぐにアドバイスしようとする

⑦ すぐに戦闘モードに入る

⑧ すぐに悪者探しをする

⑨ すぐ人と比べる

⑩ 男尊女卑

自分の中に、こんな時代遅れのコミュニケーションをとらせる 昭和のICチップがあることに気づいたら、すぐに“信頼の5つ星”のポジションに戻してほしい。

「あなたはそう思うんだね」と同調しながら、子どもの話を否定せずに聴くだけで「見守っているよ」ということは十分伝わるから。

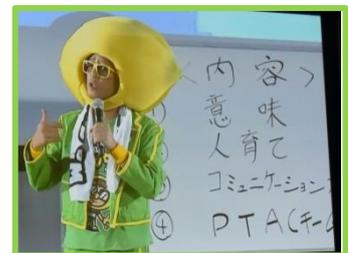
どの子もみんな、その子ならではの強みを既に持っている。だから、

教えるのではなく「気付かせる」

怒るのではなく「考えさせる」

押し付けるのではなく「自信をつけさせる」

それが大事と気づけば、子どもの世界一の応援者になれるはず！



今年は1日目、2日目共、佐賀県内の別々の会場で展開され、全体の盛り上がりには欠けるのではと危惧していました。

ところが私たちの訪れた嬉野市体育館では、佐賀県内のPTAの方々からの熱烈な歓迎を受け、そんな心配も稀有に終わりました。

会場では、佐賀県挙げて大会を盛り上げていこうとする雰囲気を感じられ、メイン会場からの中継映像も実にスムーズに映し出され、レモンさんの講演や第4分科会も内容のあるものばかりでした。

2日間共、1つの会場でしたが、大会の運営も含めてここ数年内ではとても素晴らしいPTA全国大会だったと思います。